

令和4年度第2回尾張旭市男女共同参画審議会 会議録

1 開催日時

令和5年1月24日(火)

開会 午後1時30分

閉会 午後3時10分

2 開催場所

尾張旭市役所 南庁舎3階 302・303会議室

3 出席委員

松澤 裕子、加藤 武志、福田 祥治、鈴木 敬子、水野 みち代、
上井 絹子、杉原 圭子、柴田 莉穂、安藤 喜美恵、柴田 朋子 10名

4 欠席委員

安井 順子、横井 寿史

5 傍聴者

なし

6 出席した事務局職員等

多様性推進課長 塩田 駒子

多様性推進課男女共同参画係長 佐藤 隆亮

多様性推進課男女共同参画係主事 服部 由布子 3名

7 議題等

第3次尾張旭市男女共同参画プランの策定について

8 会議の要旨

事務局(課長)	<p>本日はお忙しい中、御出席いただきましてありがとうございます。多様性推進課長の塩田と申します。</p> <p>ただ今から、令和4年度第2回尾張旭市男女共同参画審議会を開催いたします。</p> <p>安井順子委員、横井寿史委員より欠席の御連絡を頂いておりますので、12名の委員のうち10名の方に御出席いただいております。</p> <p>尾張旭市男女共同参画審議会規則第4条第2項の規定する過半数の出席を得ていますので、本審議会は成立しておりますことを御報告いたします。</p> <p>本審議会は、市の「附属機関の会議の公開に関する基準」に基づき、傍聴を認めていること、「附属機関の会議録等作成に関する基準」に基づき、情報公開の対象となること、また会議録に委員のお名前を掲載することを御了承ください。</p>
---------	--

	<p>それでは早速、議事に移らせていただきます。進行につきましては、当審議会の議長であります松澤会長にお願いいたします。松澤会長、よろしくお願いいたします。</p>
議長	<p>それでは、次第に従い会議を進めたいと思います。 次第2「第3次尾張旭市男女共同参画プランの策定について」、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局（係長）	<p><説明></p>
議長	<p>ありがとうございました。 今回は方針案作成にあたり、委員のかたの意見や思いを伺いたいとのことですが、スケジュールの面や、新たな課題として盛り込むべきこと等、なんでもよろしいかと思っておりますので、新プランの策定について、何か御意見などありましたらお出しください。</p>
議長	<p>今後のスケジュールの中に、令和5年度に市民意識調査を行うとありますが、審議会で調査票の中身を確認する機会はありますか。</p>
事務局（課長）	<p>9月頃に開催する審議会で御確認いただく予定です。</p>
水野委員	<p>小中学生を対象にしたアンケートについて、対象学年を小学5年生と中学2年生としている根拠はありますか。</p>
事務局（課長）	<p>他市町村でこの学年を対象としたアンケートが多く、結果の比較を行いやすいと考え、選んでいます。</p>
松原委員	<p>市民意識調査はどのような年代別を実施する予定ですか。</p>
事務局（課長）	<p>18歳以上の男性1,000名女性1,000名を無作為抽出する予定です。質問の内容は全ての年代で同じです。</p>
柴田朋子委員	<p>次期プラン策定の基本的な考え方に、「現プランまでをただ踏襲するのではなく…」とあるのはとても良いと思います。現在のプランで未達成の分野も踏まえて、事務局としては次期プランにどのようなイメージを持っていますか。</p>
事務局（課長）	<p>男性も女性も尊厳をもって生きられるような社会を目指したいと思っています。</p>
柴田朋子委員	<p>尾張旭市が抱えている弱みについてどうお考えですか。</p>
議長	<p>第2次男女共同参画プラン中間見直し版の13ページに、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方について国と市の調査比較があります。そこから、尾張旭市は男女間の平等感が低いことが読み取れます。家庭内での役割分担については働きかけも難しいとは思いますが、道半ばではないでしょうか。</p>
事務局（係長）	<p>第2次プラン策定時の調査結果と比較すると、少しずつですが浸透しているので、地道な取り組みが大切だと感じます。県内でも、女性の社会進出が進んでいる地域と進んでいない地域があるので、地域性を考えながら取り組んでいきます。</p>
柴田莉穂委員	<p>アンケートは、「～べきだと思いますか。」等、「べき」かどうかという形で尋ねるのですか。質問内容次第で、調査結果</p>

	にも影響を与えたいと思います。
事務局（係長）	策定支援業者と相談をしながら、より良い質問内容を考えていきます。
上井委員	今まで、市民の方に男女共同参画を知ってもらうためにどのような取り組みを行いましたか。
事務局（課長）	プラン策定時に市広報誌で周知をした他、市民向け講座の開催、子ども向け啓発誌の配布等を行いました。また、市ホームページにプランの進捗状況を掲載しています。
上井委員	「健康都市」のように、「男女共同参画」も市民に広く知れ渡ると良いと思います。
安藤委員	ホームページにプランを掲載しても、見に来てくれないと思います。多くの人に男女共同参画について知ってほしいなら、リーフレットのような、カラーで文字も少ないものを作れば見てもらえるのではないのでしょうか。ぜひ検討してください。 子ども向け啓発誌はどのように配布しているのですか。
事務局（課長）	学校を通じて配布しています。授業として取り組んでいるかは把握していません。
安藤委員	せっかく作成したのなら、授業の中できちんと位置づけられると良いのではないのでしょうか。
事務局（係長）	以前は出張授業を行っていました。毎年度実施するのは学校側の負担もあるので難しいですが、啓発誌配布は子どもたちが性別にとらわれることなく将来を考える一つのきっかけになっていると思います。
安藤委員	現場の先生や子どもたちに、LGBTQについて知ってもらいたいとNPO法人の方が言っていました。子どもの時からそういった勉強をできることが大切だと思います。
事務局（課長）	先生の中でもLGBTQについての研修を行っているという教育委員会から聞いています。
事務局（係長）	教員初任者研修でも、資料を配布し啓発をおこなっています。
福田委員	愛教組連合という県内の教師で組織する団体では、年に一度LGBTQを含む様々な事例の発表会を行っています。先生方も日常的に研究をしているという事だけお伝えいたします。
柴田莉穂委員	保育園くらいの年齢の子でも、LGBTQについての授業をしてみても良いと思います。
鈴木委員	年長くらいの子どもも男女の性差を感じているように思います。
議長	次期プランでは、男女という枠にとらわれた話ばかりしていただけないと思います。市として、LGBTQについて今後の方針等はございますか。
事務局（課長）	現在、市役所職員に対する研修や市民向け講座等を進めています。今後、パートナーシップ制度の導入を視野に入れていきたいと考えています。
事務局（係長）	名古屋市を含む県内15の自治体でパートナーシップ制度が導

	<p>入されました。特にここ 1 年間で急速に増加しています。ただ他市町村に足並みをそろえるだけではなく、それだけ多くの自治体で制度導入が必要だと判断した事実を受け止め、ニーズを捉えながら進めていきたいと思ひます。</p>
福田委員	<p>今後、「男女」という言葉を使用し続けるべきなのか難しいと思ひます。ただ、現在も数多くの課題を抱えており、男女共同参画審議会という名目で活動をしています。審議会の中で認識を頭合わせしたうえでスタートするべきだと思ひます。</p>
議長	<p>パートナーシップ制度の導入は、当事者の方にとってメリットがあるだけではなく、市の雰囲気を変えていく可能性があります。他市に比べて性的役割分担意識が強い市だからこそ、市民の意識が変わるきっかけになるのではないのでしょうか。</p>
加藤委員	<p>性のあり方は多様で、アメリカのフェイスブックでは性別の選択肢が約 58 もあるそうです。その観点から考えると、男女共同参画プランという名称はいかなものかと思ひます。</p>
議長	<p>ありがとうございました。 事務局は、今、委員から出していただいた意見を参考として市の方針案を固めていただければと思ひます。 それでは、次第 3 「その他」について、事務局から何かありますか。</p>
事務局（係長）	<p><説明></p>
議長	<p>ありがとうございました。 委員の皆様、御質問等ありますでしょうか。 事務局も他にはよろしかったでしょうか。 ではこれにて、令和 4 年度第 2 回尾張旭市男女共同参画審議会を終了いたします。 皆様、お忙しい中ありがとうございました。</p>